

電波時計

時間が合わない(ずれる)

原因①～③を順番にお試しください。

それでも受信しない場合は、下記の手動時刻合わせにて、クォーツ式の時計としてお使いいただくことをおすすめいたします。

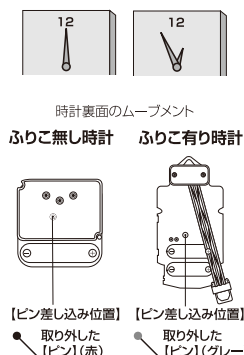
原因① 電波を受信していない

- ① 朝までそのままにしておく …… 一般的に夜間は電波状態が良くなるため、一晩そのままにしておく受信できる可能性が高くなります。
- ② 場所を変える …… 電波を受信しやすい窓際に置いて様子みてください。

原因② 機械の設定が合っていない

- ① 電池を抜き、再度電池を差し込みます。
- ② 針が回りだしたら、停止するまでお待ちください。
→ 12時で停止したら③に進みます。
→ 12時以外で停止したら③に進みます。

- ③ 停止したら、電池を抜きます。
- ④ 【ピン】を【ピン差し込み位置】に差し込みます。この時、差さらない場合は、もう一度①～③を繰り返します。(無理矢理入れてしまうと故障の原因につながります。)



- ⑤ 【ピン】を差し込みましたら、針の根本部分を持ってゆっくりと指で12時のところまで動かします。
- ⑥ 時計を横から確認し、針同士が触れていないかを確認します。この時、針の先端部分に重なりがあれば、針の先端を指で軽く持ち上げ、間隔を広げます。
- ⑦ 間隔・方向が正常の位置になったところで【ピン】を抜き、電池を入れます。
- ⑧ ②の動作が始まり、一旦12時で停止します。数分後、電波を受信し、現時刻まで自動で針が動き出します。(電波の状況によっては、受信までに一晩かかることがあります。)



原因③ 針に触れた、時計を倒した

- 針が刺さりすぎている

針に触れてしまったり時計を倒してしまうと、針が刺さりすぎてうまく動かなくなってしまう。針同士の間隔が狭くなっているように見える場合は「木の暮らし」までお問い合わせください。

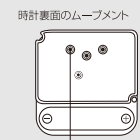
電波時計の手動時刻合わせ

電波を受信できない場合や意図的に時刻を変えたい場合は、手動で時刻を合わせることができます。標準電波を受信しない時の時間精度はクォーツ精度になります。手動で時刻を合わせても、電波の受信に成功すると自動的に電波時計に切替わります。

※針が停止しているときは、時刻合わせができません。

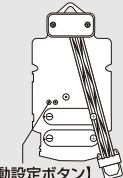
- ① 【手動設定ボタン】を長押し、時刻合わせモードにします。
- ② 【手動設定ボタン】を押して現時刻に合わせます。
ボタンを押すたびに分針が1分ずつ進み、押し続けると連続で動きます。
- ③ 現時刻に合わせたら、【手動設定ボタン】から手を放します。
6秒置くと時刻合わせモードが終了し、通常通り動き始めます。

ふりこ無し時計



【手動設定ボタン】
(SET)

ふりこ有り時計



【手動設定ボタン】
(M.SET)